

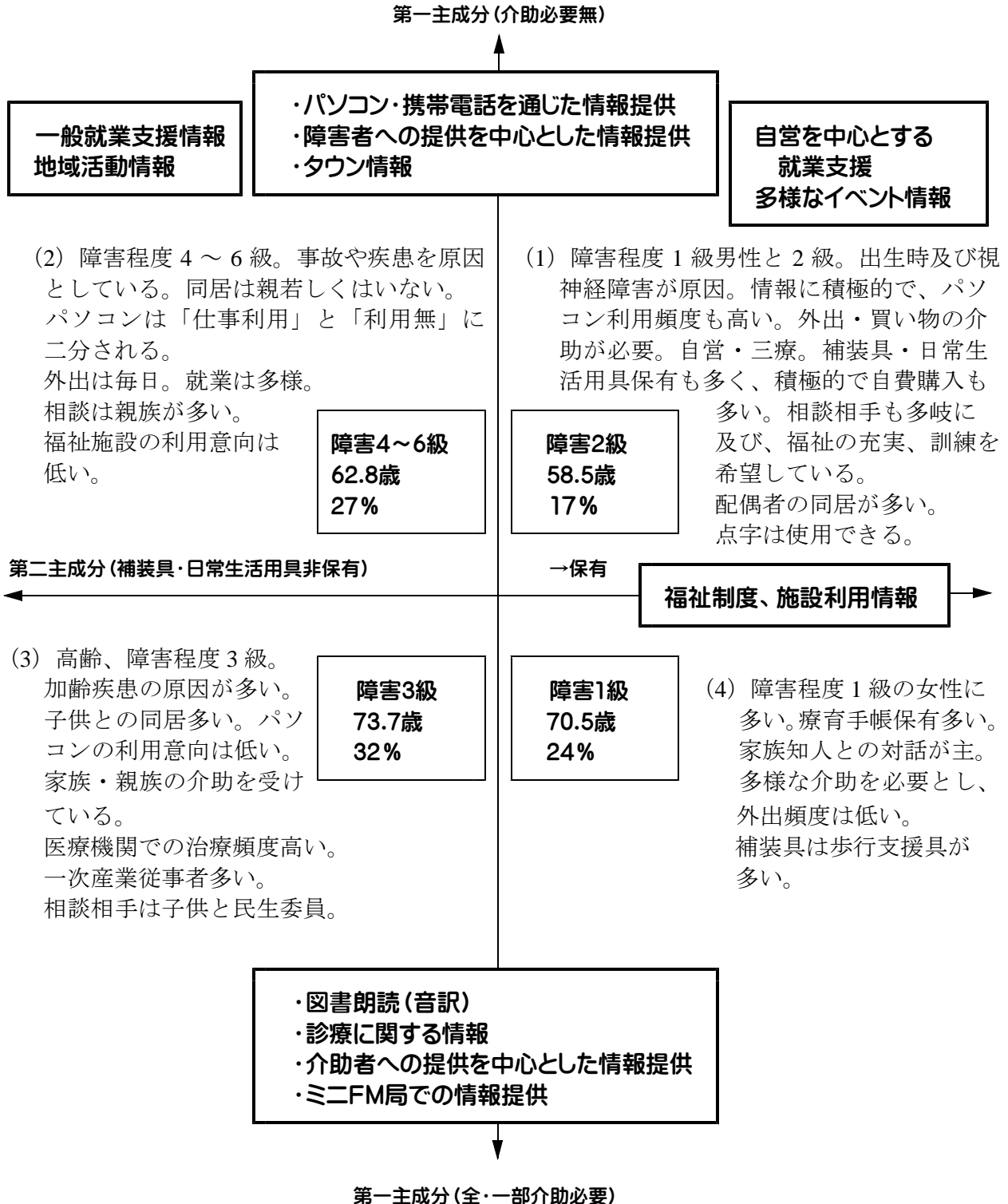
視覚障害者へのサービス

全国視覚障害者情報提供施設協会録音委員会

えりかわしげる
襟川 茂

イントロダクション

視覚障害者への情報提供要件 4象限の全体像と必要な情報



※「視覚障害者向け情報提供要件の抽出ー平成 18 年度身体障害児・者実態調査解析ー」

(2009 年 9 月 28 日、株式会社メディアカプセル作成) より抜粋、一部編集

※「平成 18 年度身体障害児・者実態調査」の照会先は、厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課
統計調査係

イントロダクション2

表 1 - 1 日本における障害者サービス実施公共図書館数

調査年	回答館数	実施館	実施率
1976 年	1050	270	25.7%
1981 年	1362	517	38.0%
1989 年	894 (自治体数)	483 (自治体数)	54.0%
1998 年	2326	1146	49.3%
2005 年	2843	1598	56.2%
2010 年	2272	1503	66.2%

※平成 20 年度の公共図書館数は 3165 館（「平成 20 年度社会教育調査」より）

表 3 - 1 設置母体別の障害者サービスの実施状況

	調査票返送件数	障害者サービス実施数	障害者サービス実施率
都道府県立図書館	53	49	92.5%
政令指定都市立図書館	251	211	84.1%
その他市区立図書館	1554	1016	65.4%
町村立図書館	401	222	55.4%
私立図書館	13	5	38.5%
(合計)	(2272)	(1503)	

設置母体別にみると、都道府県立では 92.5%がサービスを行っている。以下、政令指定都市は 84.1%、区市立で 65.4%、町村立では 55.4%、私立で 38.5%と、設置母体の規模が大きいほど実施率も高い。他方、障害者サービスを行っていない理由としては、施設・設備・人員・資料・予算等が不十分で対応できない、要望がない、他機関（点字図書館等）で行っている等の回答が目立つ。

※国立国会図書館委託調査「公共図書館における障害者サービスに関する調査研究」

(平成 23 年 3 月、株式会社シード・プランニング) より抜粋、一部編集。

1 利用者の想いに応えるサービス

(1) 施設・団体を必要としない、利用方法がわからない。

- 案内・PR、図書館ニュース（墨字版、メール版、点字版、点字データ版、大活字版、テープ版、音声デイジー版、テキスト版）、館内のバリアフリー化、読書相談

(2) ベストセラー・話題の本など墨字資料・電子資料の情報がわからない。

- 電話・ファックス等によるレファレンスサービス、パソコンの操作支援、インターネット利用支援

(3) 必要資料が利用できる形式で製作されているかどうかわからない。

- 読書相談、自館目録の整備・提供、「点字図書・録音図書全国総合目録」検索、サピエ図書館の目録データのプリントサービス、サピエ等のサイトの紹介、点字・録音・その他資料の購入・借り受け、予約サービス

(4) 必要とする資料が自分の利用できる形式で存在しない。

- 点訳サービス、音訳サービス、拡大写本製作サービス、てんやく絵本製作サービス・さわる絵本製作サービス、対面音訳（対面読書、対面朗読）、対面点訳、墨字訳サービス、テキスト化サービス、読み書きサービス、拡大読書器の利用、製本サービス、コンテンツダウンサービス、など

(5) 施設・団体に来館できない。

- 郵送貸出サービス、宅配サービス、訪問サービス

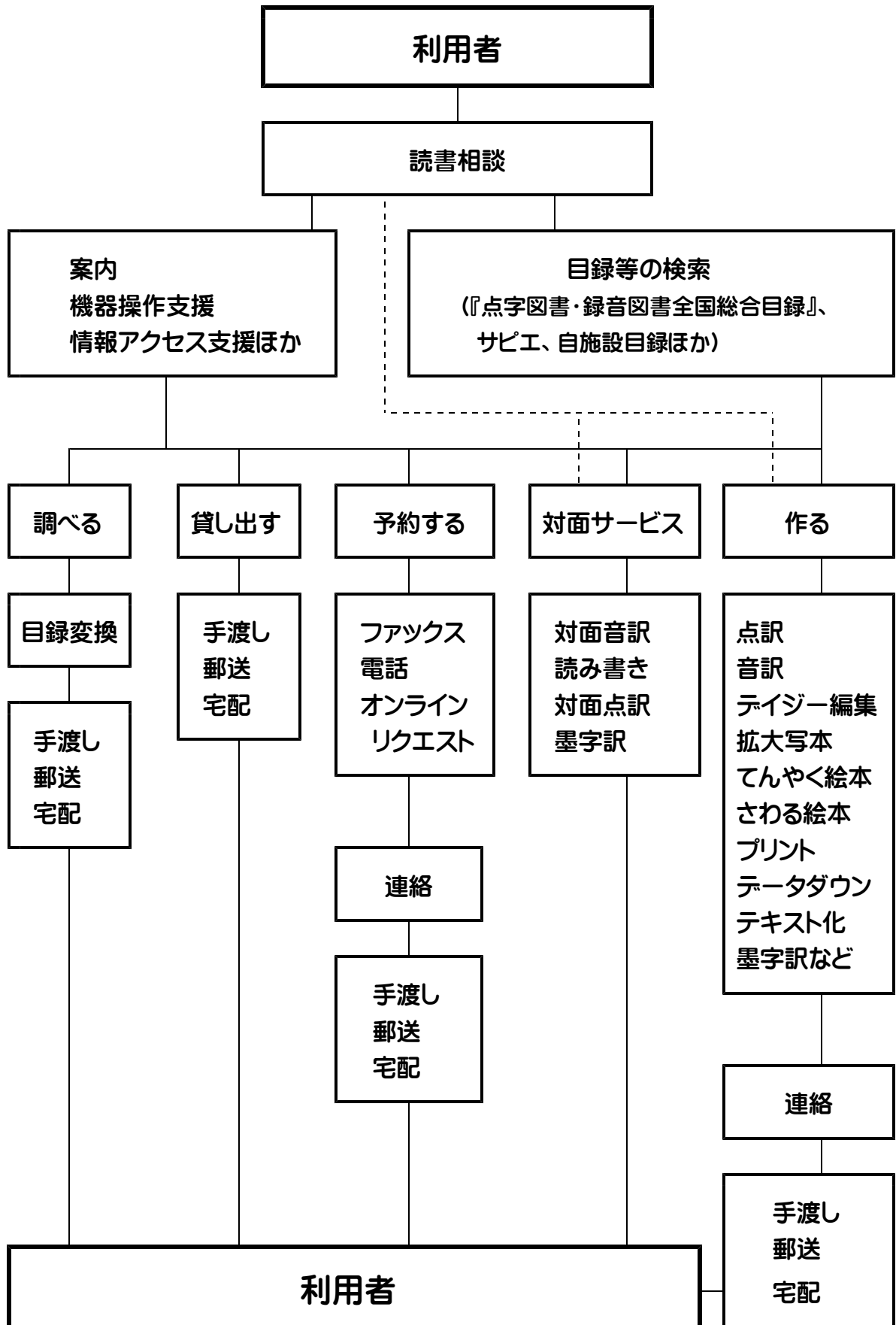
(6) 資料を利用するための機器等の使い方がわからない。

- デイジー図書再生機器操作支援、デイジー図書再生ソフト操作支援

(7) デイジー機器が手に入らない。

- デイジー再生機器貸出サービス

2 サービス流れ図



3 視覚障害者サービスの特徴・課題

(1) 基本はプライベートサービス

- ・情報アクセス方法の多様性。
- ・サービスは必要ないと感じている人も含めての一人一人の思いを受け止める。
- ・ありません、できませんと言わないサービス。
- ・窓口対応、読書相談の重要性。

参考：

『すべての人に図書館サービスを 障害者サービス入門』

(日本図書館協会障害者サービス委員会、日本図書館協会発行、1994 年)

『図書館が変わる』

(日本図書館協会障害者サービス委員会、日本図書館協会発行、2001 年)

『視覚障害者サービスマニュアル 2007』

(近畿視覚障害者情報サービス研究協議会、読書工房発行、2006 年)

『見えない・見えにくい人も「読める」図書館』

(公共図書館で働く視覚障害職員の会、読書工房発行、2009 年)

(2) 貸し出しはネットワークで

- ・自館の資料だけではサービスが限られる。
- ・ネットワーク上の各種目録の特徴を理解し利用する。

参考：サピエ詳細検索画面

サピエ ホーム(0)

文字拡大 白黒反転 テキスト表示

襟川 茂さん | 情報広場 会員情報 ログアウト ヘルプ

サピエ図書館

重要なお知らせ

- ★【事務局からのお願い】住所・電話番号・メールアドレスなど登録情報に変更がある場合、事務局まで連絡をお願いいたします。
- ★「サピエ図書館改修作業反映のためのサービス停止のお知らせ」11月6日(火曜)12時～13時までの1時間、サピエ図書館のサービスを停止いたします。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願ひいたします。
- ★「サピエ図書館の改修について」詳しくは事務局・施設団体からのお知らせ№2096をご覧ください。

資料の検索

1. 点字データ検索 点字データが登録されている資料を検索します。
2. デイジーデータ検索 デイジーデータが登録されている資料を検索します。
3. オンラインリクエスト検索 点字図書館等が所蔵していて、オンラインリクエストが可能な資料を検索します。
4. ジャンル検索 「文学」「福祉」「医療」「コンピューター」といった、大まかなジャンルから資料を検索します。
5. 詳細検索 詳細な検索条件を指定して、資料を検索します。点字・デイジーデータが登録されたものや、オンラインリクエスト可能なもののほか、点字出版、録音出版タイトルも検索できます。
6. 新着完成情報 過去1週間/1ヶ月に完成した資料を検索します。
7. 人気のある本 点字データのダウンロードや、オンラインリクエストが多い資料を検索します。

ダウンロード・個人設定

8. 点字データ番号指定ダウンロード

番号指定により、複数点字データを同時にダウンロード可能です。

9. オンラインリクエスト状況確認

オンラインリクエストした資料の現在の状況を表示します。

お知らせほか

10. 事務局・施設会員からのお知らせ

事務局・施設団体会員からのお知らせを表示します。

11. 利用案内

点字・録音図書の利用方法を表示します。

1. 検索語の入力

タイトル
著者
キーワード
出版者
分類(NDC)
ジャンル

すべての資料種別を対象とする
すべての資料種別を対象とする
【点字】に関するすべてを対象とする
点字データのみ
点字のみ
【録音】に関するすべてを対象とする
カセットテープのみ
音声デジジーのみ
オーディオブック等
音声解説
【墨字】に関するすべてを対象とする
テキストデータのみ
拡大文字のみ
テキストデジジーのみ
マルチメディアデジジー
映像資料
【その他】を対象とする

すべての語を含む

すべての語を含む

すべての語を含む

抄録からの検索を除外

2. 検索対象の指定

資料種別 ペイジーのみ対象とする
点字資料種別詳細 英語略字なし 英語略字あり 漢点字 六点漢字
目録種別
種別
対象
貸出形態
製作状況
グラフィック
音声圧縮形式

サピエ目録
サピエ目録
出版

すべて
すべて
一般
児童

すべて
すべて
図書
逐次刊行物
その他

すべて
すべて
点字(普通サイズ)
点字(Lサイズ)
FD
カセット
CD
MD
拡大文字
点訳絵本
触る絵本
墨字
DVD
その他

3. 期間の範囲指定

原本出版年: 数字4桁 (範囲指定: 始まり)
原本出版年: 数字4桁 (範囲指定: 終わり)
点録出版年: 数字4桁 (範囲指定: 始まり)
点録出版年: 数字4桁 (範囲指定: 終わり)
完成(予定)日: 数字8桁 (範囲指定: 始まり)
完成(予定)日: 数字8桁 (範囲指定: 終わり)

すべて
すべて
MP2
MP3
ADPCM
PCM

すべて
すべて
DOSグラフィック
Winグラフィック
エーデルグラフィック
その他グラフィック

すべて
すべて
完成
製作途中
着手

(サピエより転写)

サピエ <https://www.sapie.or.jp/>

※サピエホームページには「サピエ図書館」「地域・生活情報」「図書製作支援」「お役立ちリンク集」の4つのメニューがある。

参考：国立国会図書館サーチ障害者向け資料検索画面

国立国会図書館サーチ ログイン 設定 ヘルプ 日本語 文字拡大 白黒反転

簡易検索 | 詳細検索 | 障害者向け資料検索

キーワード: 深泥丘奇談

タイトル: _____ 著者、編者等: _____ 原本出版者ほか: _____ 原本出版年: _____ 年～ _____ 年

件名: _____ 分類: _____ ISBN、ISSN: _____ 製作者、所蔵館: _____

資料種別 点字 デザイン 録音図書(DVD、CD) 録音図書(カセットテープ) 大活字

検索結果の絞り込み

資料種別
障害者向け資料 (9件)

データベース
サビエ図書館資料検索 (9件)

所蔵館
サビエ図書館 (9件)

出版年
2011 (3件)
2009 (2件)
2008 (4件)

分類
文学 (9件)

検索結果一覧
検索結果 9件中 1から 2件を表示
適合度順 並び替え 表示切替 一覧 冊書影

1

深泥丘奇談 続
録音図書 (カセットテープ)
綾辻 行人 著 メディアファクトリー 2011 (幽BOOKS)

深泥丘奇談
録音図書 (カセットテープ)
綾辻 行人 著 メディアファクトリー 2008 (幽BOOKS)

深泥丘奇談
録音図書 (カセットテープ)
綾辻 行人 著 メディアファクトリー 2008 (幽BOOKS)

関連資料を表示(6件)

Anniversary50 : カッパ・ノベルス創刊50周年記念作品
点字
綾辻 行人 著、有栖川 有栖 著、大沢 在昌 著、島田 莊司 著、田中 芳樹 著、道尾 秀介 著、宮部 みゆき 著、森村 誠一 著、横山 秀夫 著 光文社 2009

Anniversary50 : カッパ・ノベルス創刊50周年記念作品
DAISY
綾辻 行人 著、有栖川 有栖 著、大沢 在昌 著、島田 莊司 著、田中 芳樹 著、道尾 秀介 著、宮部 みゆき 著、森村 誠一 著、横山 秀夫 著 光文社 2009

1

連想キーワード
深濃線
深濃駅
濑洞駅
瑞浜駅
台湾
呼ぶ
噴出
深い
場合
多い
性格
深い
金瓜
長い

▼全て表示

外部サービスで検索
書籍検索

調べ方

(国立国会図書館ホームページより転写)

国立国会図書館サーチ <http://iss.ndl.go.jp/>

「点字・録音・拡大資料等の相互貸借に関する申合せ」 <http://www.naiiv.net/>

(3) ないものは「作る」というサービス

- ・規約、マニュアル、申し合わせ事項などを遵守する。
- ・責任は職員、製作担当は主にボランティアや協力者。
- ・職員は主にコーディネーターとして。
- ・ボランティアや協力者の養成がサービスの鍵。

参考：情報提供施設ボランティア（協力者）の例

サービス補助

対面読書

読み書きサービス

調査

蔵書点訳

蔵書音訳

プライベート点訳

プライベート音訳

点訳校正

点訳読み合わせ

音訳校正

音声デイジー編集

音声デイジー編集校正

テキスト製作

テキスト校正

テキストデイジー編集

テキストデイジー編集校正

マルチメディアデイジー編集

マルチメディアデイジー編集校正

拡大写本（てんやく絵本、布の絵本、さわる絵本）

拡大写本（てんやく絵本、布の絵本、さわる絵本）校正

目録入力

装丁

コピー・発送

研究会講師

受注製作（点訳、音訳、デイジー編集、校正、装丁、コピー・発送）（有償）

参考：音訳講習会の回数別プログラム・20回の例

- 1 視覚障害者理解／音訳者の理解
- 2 正しく読む（伝える）ということはどういうことか／フレーズと意味の関係／読めない文字の調べ方（辞書について）
- 3 ポイントを掴んで読む
- 4 調音とアクセント
- 5 補足のある文章の読み方
- 6 基本文を読む
- 7 同音異義語（同音異字語）
- 8 活字符号について

- 9 ルビ、注の読み方
- 10 単純なグラフ・表の読み方
- 11 文章を読む（1～2分ぐらいのもの）
- 12 写真・イラスト
- 13 処理のある文章を読む
- 14 俳句・短歌・川柳を読む
- 15 医療関係書を読む
- 16 会話のある文章を読む
- 17 録音技術 1 基本
- 18 録音技術 2 実習
- 19 録音技術 3 実習
- 20 各自が録音したものを聞く／これからの活動について

（『音訳指導マニュアル』より抜粋）

参考：音声テイジー編集の基本的な講習内容の例

1回目 利用者にとってのデイジー編集（2～3時間）

- (1) デイジー再生機を使ってのデイジー図書の見方実習
- (2) デイジー図書の基本用語を解説する
- (3) デイジー誕生の歴史を説明する
- (4) 録音データをパソコンに取り込む方法の実習

2回目 デイジー編集の基礎（2～3時間）

- (1) 取り込んだ録音データの編集体験
- (2) デイジー図書の完成

3回目 デイジー編集の応用（2～3時間）

- (1) デイジー編集事例集の解説
- (2) いろいろな墨字原本のデイジー編集方法の提示
- (3) 講習会のまとめ

4回目以降 個人対応

（『音訳指導マニュアル』より抜粋）

参考：製作に関する各種基準及びマニュアル・手引等

【点字】

『日本点字表記法2001年版』（日本点字委員会、株式会社大活字発売、2001年）

『点訳のてびき第3版』

（全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、2002年）

『点訳のてびき第3版Q&A』

（全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、2004年）

『点訳のてびき第3版Q&A 第2集』

（全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、2010年）

- 『点訳のてびき第3版指導者ハンドブック「第2章語の書き表し方」編』
(全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、2011年)
- 『点訳のてびき第3版指導者ハンドブック「第3章分から書き」編』
(全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、2012年)
- 『(視覚障害者介護技術シリーズ1) 初めての点訳』
(全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、2002年)
- 『初めての点訳第2版指導者用マニュアル』
(全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、2003年)
- 『「サピエ図書館」登録点字文書製作基準』(サピエ)
- 『楽譜点訳の手引(基礎入門編) 全26曲点字解答付・独習ノート』
(足立勤一、全音楽譜出版社発売、2006年)
- 『初歩から学ぶ英語点訳 四訂版』
(福井哲也、日本点字図書館図書製作部点字製作課(出版)発行、2007年)
- 『点字理科記号解説(暫定改訂版)』
(日本点字委員会編著、日本点字委員会発行、2001年)
- 『パソコンで仕上げる点字の本&図形点訳』
(長尾博著、畑中滋美作図、読書工房発売、2005年)

【てんやく絵本】

- 『点訳絵本のつくり方 増補改訂第3版』
(岩田美津子著、せせらぎ出版発行、2005年)

【布の絵本】

- (「東京布の絵本連絡会」「ふきのとう文庫」等からのネット情報参照)

【さわる絵本】

- 『さわる絵本の作り方』(セリア図書館、2008年)
- 『さわる絵本 : 大阪での試み』(小西萬知子、大阪市立中央図書館)

【拡大写本】

- 『あなたにもできる拡大写本入門』(山内薫著、株式会社大活字発売、1998年)
- 『拡大教科書作成マニュアル』
(独立行政法人国立特殊教育総合研究所、ジアース教育新社発売、2005年)

【録音】

- 『音声 DAISY 製作の際の申し合わせ事項』
(公共図書館で働く視覚障害職員の会(なごや会)、全国音訳ボランティア
ネットワーク、DAISY 編集者連絡会、日本図書館協会、全国視覚障害者情報
提供施設協会、2011年8月29日)

1. 原本にできるかぎり忠実に音声化し、DAISY 編集を行う。
2. 始めと終わりの枠アナウンス以外は、原本の記載順序にできるかぎりあわせて音声化する。
3. 枠アナウンスには、著作権処理に関する事項、製作館に関する事項、製作完了年月に関する事項、および録音図書凡例を録音する。
4. 最低1回は、原本と照合した校正を行う。
5. 録音は、圧縮せず、PCM で行う。
6. 貸出用録音資料は、MP3 形式で提供する。

『録音 (DAISY) 資料製作に関する全国基準』

(公共図書館で働く視覚障害職員の会 (なごや会)、全国音訳ボランティアネットワーク、DAISY 編集者連絡会、日本図書館協会、*協力団体・全国視覚障害者情報提供施設協会、2011年)

『録音図書製作基準』

(「音訳マニュアル【録音・調査編】改訂版」に収録、2006年3月改訂)

『録音図書校正基準』

(「音訳マニュアル【録音・調査編】改訂版」に収録、2005年)

『デイジー編集基準』(「音訳マニュアル【デジタル録音編】」に収録、2007年)

『「サピエ図書館」登録音声デイジー文書製作基準』(サピエ、2010年)

『音訳マニュアル【音訳・調査編】改訂版』

(全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、2006年)

『音訳マニュアル【処理事例集】』

(全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、2004年)

『音訳マニュアル【デジタル録音編】』

(全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、2007年)

『音訳マニュアル【デイジー編集事例集】』

(全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、2008年)

『初めての音訳』

(全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、1999年)

『音訳テキスト【デイジー編集入門編】』

(全国視覚障害者情報提供施設協会、株式会社大活字発売、2012年)

【テキストデイジー】

『「サピエ図書館」登録テキストデイジー文書製作基準』(サピエ)

(4) 地域や全国の仲間と協力する

- ・地域の公共図書館や視覚障害者情報提供施設、ボランティアグループ、視覚障害者団体などと日常的なつながりを持ち交流し、共に視覚障害者福祉の課題を考える。
- ・一人で悩まない。各種講習会の講師派遣や資料製作の方法など専門的な知識が必要な課題について、相談できる人や団体に積極的に相談する。

【視覚障害者サービスについての相談先】

日本図書館協会障害者サービス委員会 <http://www.jla.or.jp/>

全国視覚障害者情報提供施設協会 <http://www.naiiv.net/>

近畿視覚障害者情報サービス研究協議会 <http://www.lnetk.jp/>

4 視覚障害者サービス関係用語

点訳

普通のことばや文字を、点字に直すこと。(日本国語大辞典)

墨字の文章を点字にすること。点字訳。：方法：日本語の点字(一般的な6点式点字)の場合、墨字が漢字仮名交じり文章に対して、点字は仮名文字文章なので、点字用に仮名読みに変換・分かち書きを行う。(Fresh eye ペディアより)

音訳

文字や図表などの情報を音声化すること。インクを用いて表現された文字や図表など、聴覚以外の感覚(主に視覚)に依存する媒体からの情報取得が困難な人々のための情報保障形態のひとつ。狭義には、肉声による音訳を指す。文芸作品などの文章を声に出して読む朗読との違いは、音訳ではインクなどを用いた表現との同一性保持が要請され、音声化する人物による解釈介入の極小化が要請される点である。(Fresh eye ペディアより)

点字郵便物

視覚障害者向けの点字で書かれた文書のみを内容とするものを対象にした郵便サービスの一つ。第四種郵便物にあたる。旧郵政省時代の1961年6月1日の郵便料金改正で、それまでの有料から無料に変更され、日本郵政公社、民営化後の日本郵政グループにも引き継がれて現在に至る。(Fresh eye ペディアより)

プライベート・サービス

視覚障害者の依頼によって、依頼者だけの利用となる資料の作成等をするサービスのことをいいます。この場合、作成した資料は図書館の蔵書になりません。(『視覚障害者サービスマニュアル2007』より)

対面音訳(対面読書・対面朗読)

対面朗読とは、視覚障害者や肢体不自由者等のように活字（墨字）による読書が困難な人に対する墨字資料の音訳サービスです。

このサービスは、こうした利用者の希望する資料を対面朗読室や集会室等で、聞き手（利用者）と読み手（音訳者）のマンツーマン形式で行います。（『視覚障害者サービスマニュアル 2007』より）

対面点訳

視覚と聴覚の重複障害がある人への、指点字等を使用しての情報伝達サービス。

読み書きサービス

墨字資料の音訳サービスに加えて、視覚障害者の墨字による情報伝達の支援をするサービス。代読・代筆サービスとも呼ばれる。

※参考資料：『読み書き（代読・代筆）情報支援員入門』

拡大写本

「拡大写本」というのは、弱視であったり、読書などをするのが困難な方のために、その人に最も読みやすい文字の大きさと書き写した本のことです。拡大文字の教科書や大きな文字で読みやすい本を作ります。弱視児（小学生）が使用する教科書を、その生徒が最も読みやすい大きさの文字で書き写したり、パソコンで入力した拡大教科書を制作しています。また、読書障害者（高齢者など）には大きな活字の読みやすい大活字図書を制作しています。（坂戸拡大写本の会のホームページより）

布の絵本

布の絵本とは台紙が布でできていて、そこに様々な布で作った絵を綴じ付けたものですが、中には一部の絵をスナップやマジックテープでとめて、取り外しできるように工夫しているものもあります。この絵本の用途は広く、見えない子ども達だけでなく、手先が不自由な子どもや、知的障害の子ども達も楽しむことができます。

（「てんやく絵本ふれあい文庫」のホームページより。「さわる絵本」「てんやく絵本」「点字絵本」も同様。）

さわる絵本

さわる絵本とは市販の絵本をモデルにすることが多く、描かれている絵に近い色と手ざわりの材料を使って、絵を形作り、厚紙にはりつけたもので、文章は点字と普通の文字とで書かれています。幼い視覚障害児を対象に作られていますが、小学生でも十分楽しめます。

てんやく絵本

てんやく絵本とは市販の絵本をそのまま用いるもので、透明の塩ビシートに文章を点

訳し活字部分に貼り付け、絵の部分も同じシートで形を切り抜き、絵の上に貼ったり説明文を書き添えるなどして、見える人と見えない人が一緒に楽しめるようにしたものです。もともと子育て中の視覚障害者のために作られたものですが、現在では視覚障害児がいる家庭や、地域の読書活動に参加している視覚障害者の利用も増え、視覚障害児が在籍する幼稚園や小学校、点字図書館や盲学校、公共図書館にも備えられるようになってきました。

点字絵本

点字絵本とはパソコンを使って文章を点訳するとともに、絵の部分も点図で表したものです。上記の 3 種は晴眼者も一緒に楽しむことができますが、この点字絵本は無地の紙に点字や点図が印刷されているだけのため、視覚障害児（者）用といえるでしょう。

デイジー (DAISY)

DAISY とは、Digital Accessible Information System の略で、日本では「アクセシブルな情報システム」と訳されています。ここ数年来、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のためにカセットに代わるデジタル録音図書の国際標準規格として、50 カ国以上の会員団体で構成するデイジーコンソーシアム（本部スイス）により開発と維持が行なわれている情報システムを表しています。

DAISY コンソーシアム公認のオーサリングツールを使ってデジタル図書を作ることができ、専用の機械やパソコンにソフトウェアをインストールして再生をすることができます。国内では、点字図書館や一部の公共図書館、ボランティアグループなどで DAISY 録音図書が製作され、主な記録媒体である CD-ROM によって貸し出されています。

（DAISY 研究センターのホームページより）

テキストデイジー

テキストデイジーデータとは、活字による読書が困難な方が、合成音声ソフトで読み上げたり大きく表示したりして利用する電子テキスト（文字列）のみを構造化したデイジー（DAISY）データであり、音声ファイルは含まない（画像ファイルは含む場合がある）。（サピエより）

マルチメディアデイジー

マルチメディアデイジーは音声にテキスト、画像をシンクロ（同期）させることができます。パソコン上で専用再生ソフトを使用すると、音声のスピード・文字の大きさ・背景とのコントラストの変更ができます。ハイライトがつくこと・目次があること・目次から読みたい章や節、任意のページに飛ぶことができることなどの機能もあり、さらにタッチパネルの使用、点字ディスプレイへの接続も可能です。（日本図書館協会のホームページより）

以上